

2009年11月10日

バンテック、2010年3月期 第2四半期決算を発表

- コスト削減の取り組みで、期初予想どおり第2四半期に黒字化を達成-

株式会社バンテック(本社:横浜市、社長:山田 敏晴)は10日、2010年3月期第2四半期(4-9月期)の決算を発表した。

2010年3月期の第2四半期(09年度上期)決算のポイントは以下の3点。

- (1) 前年同期比で大幅な減収減益も、計画を上回る営業利益を確保
- (2) コスト削減対策の進捗で、黒字化を達成。利益は回復基調が鮮明に
- (3) 通期業績予想に修正なし

<09年度上期の決算概要> 第1四半期の赤字から黒字転換

09年度上期の実績は、売上高518億2900万円(前年同期比35.7%減)、営業利益9億800万円(同68.8%減)、経常利益9億9800万円(同68.5%減)、四半期純利益7億5800万円(同63.2%減)と大幅な減収減益となった。昨年秋以降の世界的な景気低迷の影響を受ける中、主要顧客の自動車生産・輸出船積み台数や日本発着の航空貨物の輸送量の減少などに一定の歯止めがかかったものの、本格回復までには至らなかったことが要因。ただ、期初から取り組んでいる合理化および固定費削減の努力が奏功し、赤字決算となった第1四半期から黒字転換すると同時に、期初見通しを上回った。

<09年度上期の連結決算概要>

(単位:百万円)

連結決算	09年度上期 (09年4-9月)	08年度上期 (08年4-9月)	08年度下期 (08年10月-09年3月)	08年度上期比	08年度下期比
	(A)	(B)	(C)	(A) - (B)	(A) - (C)
売上高	51,829	80,644	59,619	△28,814	△7,790
営業利益	908	2,910	△806	△2,001	1,714
経常利益	998	3,169	△733	△2,170	1,731
四半期純利益	758	2,064	△1,702	△1,305	2,460

<営業利益が回復基調> 合理化、固定費削減効果が寄与

09年度上期は、自動車生産が好調だった08年度上期と比較すると大幅な減収減益となった。しかし、急激な景気悪化に見舞われた08年度下期と比較すると、利益の回復基調が鮮明になっている。自動車生産と輸出船積み台数の回復の遅れや日本発着国際貨物の低迷から、売上高は減少したものの、営業利益は17億円の改善を見せた。輸送ルートの見直しや輸送効率向上、労務費の削減など、全社挙げての取り組みが寄与した。四半期ごとの比較でも、第2四半期(7-9月)は、第1四半期(4-6月)に比べ営業利益は16億円増加し、増益基調にある。

<通期の連結業績予想> 業績予想の修正なし

コスト削減の取り組みの徹底により、計画どおり09年度上期に黒字化を達成すると同時に当初計画を若干ながらも上回った。しかしながら、主力顧客の2010年1-3月の生産動向や日本発着の国際貨物の動向など、経営を取り巻く環境の先行きには、なお不透明感がある。新規顧客の開拓など積極的に営業拡大に努める一方、整齊と合理化努力を継続し、期初の通期見通しである売上高1,200億円(前期比14.4%減)、営業利益40億円(同90.1%増)、経常利益40億円(同64.2%増)、当期純利益20億円(同451.1%増)の予想は変更しない。